

青葉中学校との交流学習会 報告書 (相沢)

クラス	3 3 HR
テーマ	選挙について
担当グループ	総文①
担当議員	五十嵐、山口、松倉、相沢
テーマの概要	選挙の仕組み、選挙の種類、市議会議員の仕事
生徒の主な意見	<p>投票率が下がることの弊害は、との問いに対し、「変わらない」「国民が何を望んでいるかわからない」「世代ごとの投票率の差が顕著になり、どの世代に向けた政策かが偏る」</p> <p>選挙に行くか、との問いには、「必ず行く」「初めての選挙には行く」</p> <p>どうしたら皆選挙に行くのか、との問いには、「お金 (投票したらもらえる or 投票しなかったら罰金)」「選挙に行ったら何かもらえる」「オンライン投票の仕組みを整える」「興味のある公約」「投票する側が、より良くしようという意識を持つ」「選挙に行かない年齢層への政策」</p>
所見	<p>女性が初めて選挙に参加できるようになったのはいつでしょう、との問いに、半数近くの生徒が戦後すぐと回答していて、公民の授業の質の高さを感じた。</p> <p>選挙権をもらってすぐの選挙には、ほとんどの生徒が投票に行くと言っていたが、その後も積極的に選挙に関心を持ってもらえるよう、我々議員も情報発信などにも取り組まなければならない、と考えた。</p> <p>選挙に積極的に参加すると答えてくれる若者に触れ、きちんとこの若者の声を反映した政治を行いたいと強く思う。また、この若者の現在持っている投票への意欲をそぐことがないよう、全議員が信念をもって活動するべきだと感じた。</p>

青葉中学校との交流学習会 報告書

クラス	3年1組
テーマ	選挙について
担当グループ	総文②
担当議員	松隈・佐々木・今野・丸岡
テーマの概略	<p>「選挙に行くべきだ」と私たちが言うのではなく、生徒たちが将来選挙に行くかどうかを自ら考えるきっかけにする</p> <p>導 入 選挙をどのように捉えているのかを問いかけ、普通選挙の歴史について簡単に説明</p> <p>本 題 選挙をより身近に感じてもらえるようなクイズなどを通して、投票率が下がることの弊害や、それではどうしたら投票率が上がるのか等を考えてもらう</p> <p>まとめ ここまでの学習を通して、選挙に行くかどうかを考えてもらう</p>
生徒の 主な意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>●投票率が下がることの弊害について <ul style="list-style-type: none"> <li>・一部の人の意見しか通らなくなる</li> <li>・一部の人の意見のみになる</li> <li>・投票している人たちがいいと思う政治になる</li> </ul> </li>   <li>●投票率を上げるにはどうすればよいか <ul style="list-style-type: none"> <li>・もっと身近に選挙を感じる</li> <li>・マイナポイントをあげる</li> <li>・ネット投票</li> <li>・日用品をあげる</li> <li>・罰金</li> </ul> </li>   <li>●最後に市議会議員にお願いしたいこと <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校の校則を変える</li> <li>・給食おいしくしてほしい</li> <li>・学校きれいにしてほしい</li> <li>・公園にバレーボールコート</li> <li>・クーラーつけてほしい</li> <li>・支笏湖をもっと有名に!</li> </ul> </li> </ul>
所見	<p>最後に生徒たちから質問をいただく。質問には担当議員全員が答えた。  (・なぜ議員になろうと思ったのか・立候補って何をするの・選挙の時のハプニング・議員をされていて楽しいこと等)</p> <p>大変難しいテーマだったが、まじめに取り組んでいただいた。  ジャムボードにより発言が容易になりスムーズな意見交換ができた。</p>

青葉中学校との交流学習会 報告書

クラス	青葉中学校 3 年生
テーマ	少子高齢化
担当グループ	厚生環境常任委員会
担当議員	飯田議員、宮原議員、古川議員
テーマの概要	<p>千歳市議会についての概要を説明すると共に、日本における少子高齢化は世界でも群を抜いて加速している状況の中で、次の事項について生徒と共に考え意見の交流を行った。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 市議会の説明</li> <li>2 少子高齢化の現状</li> <li>3 少子高齢化の原因</li> <li>4 少子高齢化の問題点</li> </ol>
生徒の主な意見	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 市議会の説明（税金の使い道） <ul style="list-style-type: none"> <li>・市民の為に大事に使う</li> <li>・学校にクーラーを</li> <li>・どんどん使うべき</li> <li>・優先順位を考えるべき</li> <li>・千歳市に役立つ物、今必要な物に使うべき</li> <li>・無駄に使わずに何かあったときに使うべきだと思う。</li> <li>・今後、災害など緊急時にすぐ使えるような資金であってほしい。</li> </ul> </li> <li>2 少子高齢化の原因は？ <ul style="list-style-type: none"> <li>・出産一時金などの対応</li> <li>・晩婚化</li> <li>・一人暮らしが増えた</li> <li>・合計特殊出生率の低下</li> <li>・昔より女性で働く人、共働きの人が増えたから</li> </ul> </li> <li>3 少子高齢化の問題点は？ <ul style="list-style-type: none"> <li>・若い世代への負担が増える</li> <li>・絶滅する</li> <li>・税金の増加・働く人に対し働けない人が増える</li> </ul> </li> <li>4 感想 <ul style="list-style-type: none"> <li>・千歳市が他の街と比べてどのような街か知ることができた。</li> <li>・話を聞いて市議会が何時もどのような事をしているのかを知れた。そして、少子高齢化のイメージが変わった。</li> <li>・税金がどんなことに使われているのか分かった</li> </ul> </li> </ol>
所見	<p>短い時間ではあったが、学習交流の内容を前段、後段に分け行ったが、前段では千歳市議会の行っている業務、特に市民・市議会・市長の関係並びに税金の使用については、おおむね理解したものと思われる。</p> <p>また、後段の少子高齢化の原因・問題点についても、真剣に考え、個々の思いを正直に述べてくれた。少子高齢化について考える事の重要性について、理解できたと感じられ、交流学習会の成果としては十分あったものと思われる。</p>

青葉中学校との交流学習会 報告書

クラス	厚生2
テーマ	ごみ減量とリサイクル
担当グループ	厚生環境常任委員会
担当議員	北原議員、落野議員、小林副議長、仲山議員（議席順）
テーマの概要	ごみ減量とリサイクル率向上について、現状を認識し、まちの指標の達成へ一人一人が出来ることを考えさせること。
生徒の主な意見	<p>①一人1日当たりのごみ減量への取組  （まちの指標を示し、現状出来ることを学校給食等で考えてもらった）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・好き嫌いしないで食べる（4）</li> <li>・なるべく残さず食べる（3）</li> <li>・食べれる分だけ食べる（2）</li> <li>・給食の量を減らす（2）</li> <li>・人それぞれの量に調整し配膳する（2）</li> </ul> <p>・美味しいものを作って欲しい（3）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・給食を栄養だけで考えるのではなくアンケートなどを取り給食を作る</li> <li>・給食センターを新しくし、児童生徒が食べたくなるような給食にする</li> </ul> <p>②リサイクル率向上への取組</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒からリサイクル率向上へ、自分たちはどのような取組をすれば良いのかという質問があり、具体的に身近な例としてペットボトルの処理について説明した。</li> </ul>
所見	<p>今回はコロナ禍の中での開催となり、これまでの様な給食での交流がなく物足りなさも感じたが、生徒さんは非常に元気が良く、真剣に聞いて頂き、市議会についてや今テーマを通して議員を身近に感じてくれたと思います。</p> <p>テーマの資料説明に少々時間が掛かり、生徒からの声をもう少し聴く時間を持つ必要があったと感じています。</p> <p>また、今年から中学校へ導入されているタブレットを使用しての交流学習会であったが、何とか対応ができ、私たちも勉強になったと思います。</p>

青葉中学校との交流学習会 報告書

クラス	
テーマ	千歳市の新たな観光資源
担当グループ	産業建設常任委員会
担当議員	大山委員長、岩満委員、平川委員、吉谷委員
テーマの概要	千歳市の現在の観光資源及び、市内ホテル等の状況を説明して、生徒さんが考える「新たな観光資源」について、自由な意見を発言してもらうことを目的に授業を行った。
生徒の主な意見	<p>○ クイズ1「千歳市内のホテルの数」 生徒さんの答え 8、9、10、21、24、27、32、35、100、300などの回答があった。(正解は、本年11月現在で34件)</p> <p>○ クイズ2「千歳市には世界一がありましたか教えてください」 生徒さんの答え 支笏湖の透明度4名、北海道への旅客便数5名(正解は、北海道への旅客便数)</p> <p>○ クイズ3「みなさんが思う千歳の観光資源は」 ・観光でこんなのがあったらいいな ・こんな場所が欲しいな 生徒さんの答え 遊び場、遊園地、大きな本屋、東急ハンズ、動物園、無印、スタバ、トイザラス、ちっちゃいサッカーコート、街が見渡せるビルっぽいもの</p>
所見	<p>今回の交流会は初めて、生徒の皆さんがタブレットを使用した自由な意見を画面上に書いて発表するという形式で行いました。まず、生徒さん達が千歳の観光の現状をどのくらい認識しているかと、クイズ形式を取り入れて授業をすすめましたが あまり認識されていないことが確認できました。</p> <p>また、今回のテーマである「新たな観光資源」について自由な発想に基づく意見をボードで回答してもらいましたが いま欲しい物への回答が得られて、観光とかけ離れた回答になっていましたのは、今後のレクチャ側の課題かと思料しました。</p> <p>また、タブレットの活用も良いと思いますが 今後の生徒さんとの交流会の在り方は、やはり言葉のキャッチボール、つまり発表(発言)する形式を主にして補佐的(発表が苦手な生徒のための一部タブレット発表)に使用した形式を検討した方が良いと思料します。</p>

青葉中学校との交流学習会 報告書

クラス	32HR
テーマ	千歳市で働ける環境づくり
担当グループ	産業建設常任委員会
担当議員	北山副委員長、坂野委員、渡部委員
テーマの概要	将来就きたい職業や働きたい場所、また千歳市内で働くことを前提とした場合何が必要かなど、①中学生の人気職業ランキング②千歳市の働く場所③千歳市が目指す働く環境づくりをテーマとして、生徒たちとディスカッションを行った。
生徒の主な意見	<p>① 「中学生の人気職業ランキング」          将来なりたい職業についての質問では、約半数の生徒が「公務員」と回答した。その他、「教師」、「美容師」、「看護師」、「医療事務」、「イラストレーター」、「プログラマー」、「花屋」、「ユーチューバー」などの回答があった。</p> <p>② 「千歳市の働く場所について」          千歳市の主な企業を紹介。働きたい場所についての質問では、道外、海外で働きたいと答えた生徒が4名、千歳市内で働きたいと答えた生徒が1名、その他は就きたい職業であれば道内（特に石狩管内）が良いという意見が大半であった。</p> <p>③ 「千歳市が目指す環境づくり」          千歳市が運営する求人サイト「ちとせの仕事」を紹介。また、第7期総合計画の概要を説明し、市が目指す環境づくりについて説明。今の千歳市に足りないもの、改善を望むものを質問した（回答は以下のとおり）</p> <p>●施設関係 スターバックスやドトールなどのカフェ、コストコやL o f t、無印良品、薦屋書店、画材店などの商業施設、大学、私立高校、各種専門学校など、ラウンドワン、遊園地、温泉、映画館、科学館などの娯楽施設など。</p> <p>●条件面 公園の設備や遊具を充実してほしい、勉強ができる場所を増やしてほしい、学生が長居できるようなたまり場、ジェット機の騒音軽減など。</p>
所見	<p>生徒達は、最後まで説明を真剣に聞き、質問に対しては即座に回答をしてくれるなど、スムーズかつ活発な意見交換の場となった。中学生であり、まだ就職に対する感覚は少ないかもしれないが、千歳市の働く環境について意識を持つ機会となったと思われる。就きたい職業については、圧倒的に「公務員」という回答が多く、堅実で安定的な志向がうかがえた。また、就業したい場所に市内と回答した生徒が少なかったことは大いに危惧しなければならないと思う。子どもたちが千歳市内に足りないと思っているものは学校や自習ができるような文教施設、また大型の商業施設や娯楽施設などであることもわかった。</p> <p>毎回生徒たちと踏み込んだ意見交換をする時間が足りないので、テーマについて十分に考え、議論できる時間配分を検討すべきと提言します。</p>